

PRESS RELEASE



尚綱学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

リリース日：2026年6月19日

SDG s に取組む 26 団体(高校・大学・企業等)が出席！ 「SDG s マルシェ 2026」のご案内

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

尚綱学院大学は、建学の精神「他者と共に生きる」のもと、東北を持続可能な社会として次世代に引き継いでいくことを目指し、これまで様々な「尚綱 SDG s Action プロジェクト」を展開してきました。

今年度は、6月28日(日) 10:30より、サンモール一番町商店街アーケード内を会場に「SDG s マルシェ 2026」を開催いたします。

今年のテーマは「続けよう！ -持続可能な未来に向けて-」です。

12の高校、10の企業・団体、そして本学4つのゼミ等が参加し、SDG s に関する取り組みや調査結果について、展示・発表・ワークショップ等のブースを展開します。

今回のイベントは、アーケードを訪れた方々が、高校生や大学生、企業等の取り組みに触れることで、SDG s に関連した様々な問題についての関心と理解を深めていただくとともに、活動に参加するきっかけづくりや意欲向上につながる機会になればと考えております。

つきましては、お忙しい時期とは存じますが、様々な団体が一堂に会する今回のイベントについてぜひ取材頂き、広く一般の方々へご紹介いただきたくお願い申し上げます。

- 日程：2026年6月28日(日) 10:30~15:30
- 会場：仙台市サンモール一番町商店街アーケード内
- 内容：添付資料の通り
- 主催：尚綱学院大学 SDG s マルシェ事務局

* 尚綱学院大学×SDG s 紹介ページへ



<お問い合わせ先>

尚綱学院大学 SDGs マルシェ事務局

鳥羽妙、大谷航

TEL: 022-381-3501

Email:sdgs_marche@shokei.ac.jp

<お問い合わせ先>

尚綱学院大学 教育研究支援課

(大学広報室)清野 正恵

TEL: 022-381-3501

Email:ksien@shokei.ac.jp

来て・見て・さわって・楽しめる！
SDGsマルシェ 2026
 「続けよう！—持続可能な未来に向けて—」

6月28日(日)
10:30~15:30

会場：サンモール一番町商店街アーケード内

SDGs

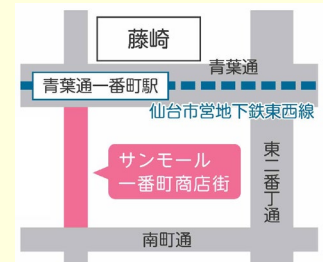


体験型ワークショップ



各ブースのシールを集めるとガチャを回せるよ！

活動や研究の紹介展示発表



会場はこちら



SDGsマルシェ紹介ページ

主催：尚綱学院大学 運営：尚綱学院大学SDGsセンター
協力：サンモール一番町商店街振興組合
お問合せ：尚綱学院大学SDGsマルシェ事務局（鳥羽妙 大谷航）
TEL:022-381-3501 E-mail:sdgs_marche@shokei.ac.jp

企業・団体ブースのプロフィール

Ecoco
 尚綱学院大学で行われた、「大学生と考えるSDGs」は、学生や行政、企業が集まり、SDGsの実現に向けて語り合い、できることを考え、共有する場です。Ecocoはこの「大学生と考えるSDGs」から、さらに自ら活動してみたいと声を挙げる有志のメンバーで発足されました。現在は、児童労働問題を取り扱い、スレイブフリー（強制労働のない）チョコレート販売を目指しています。今年は新メンバーとともに、新しい企画の実践を目指しています。

(株)manaby
 manabyは「一人ひとりが自分らしく生きられる社会」を目指し、障害のある方を対象とした就労支援サービスを運営しています。障害特性から外出が困難な人、人混みで体調を崩してしまう人、通勤が難しい人は少なくありません。障害によって働くことを諦めて欲しくない、という想いからmanabyは生まれました。「ITスキル」と「らしさ」を学び、自分らしい働き方の実現に向けてサポートしています。

(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会東北支部
 食品ロス削減、3R、地球温暖化防止などの環境やインターネットトラブル防止などをテーマに取り組んでいる消費者団体です。学校、市民センター、行政などから依頼を受け幅広く出前講座に取り組んでいます。

国土交通省 仙台河川国道事務所
 気候変動によって、いろいろなところで水災害が起きています。そんな中でどうすれば暮らし続けられるか、私たちに何か出来るのか、3Dシミュレーションや模型を使ってみんなで考えてみましょう。

SILKWa・桑くら部
 宮城県の最南端にある丸森町で蚕糸に関わる活動をしています。便利な化学繊維や輸入品に押され、国産シルクの存在が危ぶまれるとともに、日本を支えた伝統産業「養蚕」が衰退を続けるなかで、作り手の手技や道具の継承や背景にあるストーリー、そして天然素材シルクの機能性も体感いただけるかと、多様な体験の場作りや、養蚕の過程で生まれる副産物や廃棄素材を活用したモノ作りを行っています。

Shiroishi Aroma Project
 宮城県白石高校の環境ゼミでアロマ(香り)について課題研究を行っている高校2年生です！使えるのに放置されている植物に利用価値を見出したい！そんな植物からアロマ(香り)を抽出し、製品をつくり、人の生活を豊かにしたい！という思いから課題研究を始めました！

仙台市民活動サポートセンター
 サポセンは、「自分たちの住む街や社会をもっと良くしたい」と活動する方々の支援施設です。活動の悩みを相談したり、情報を受発信したりできる他、活動を始めたり、続けたりするのに役立つ講座や交流会も企画しています。

建築工房零
 "宮城県・青森県を拠点に設計・施工を行う地域工務店。地域の気候風土を活かすパッシブ設計で省エネかつ“小エネ”の暮らしを心地よく実現する、国産無垢木材や自然素材を使った新築戸建て住宅から、木造戸建リノベーション、施設店舗、宅地分譲やゲストハウス運営まで、“健やかな暮らし”をつくり届ける事業を展開しています。炎のある暮らしの愉しみを広める“焚人”は、東北エリアで最多のペレットストーブ設置数を誇ります。

みやぎグリーン購入ネットワーク
 平成16年3月に設立された宮城県内の企業・団体・行政の緩やかなネットワークです。全国グリーン購入ネットワークと連携した活動を行い、地域からグリーン購入の輪を広げています。

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ(宮城県林業技術総合センター)
 林業を志望する人や森林や林業で働く人のための学びと実践の「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」です。登米市木工芸支援員として活躍する研修修了生とカレッジのスタッフが木工品の制作のワークショップを出展します。

尚綱学院大学関係ブースのプロフィール

尚綱学院大学 岡田ゼミ
 岡田ゼミで、被災地の復興状況や地域コミュニティの実態を実際に大沢地区に実習に行ってきました。実際に行ったからこそ行ったことのない人へ現地の情報をしっかり伝えるためにこのブースを開催します。参加ブースも作成予定ですので是非皆さん興味がある方は立ち寄り見てくださいね！

尚綱学院大学 成田ゼミ/読み書き・子ども発達支援センター
 尚綱学院大学の「読み書き・子ども発達支援センター」は、さまざまな困難に直面している子どもへの発達支援や、家族などへの援助に関する理論と方法に関する研究を行うと共に、実際の支援や相談・援助活動を通して教育研究を行うことを目的として活動しています。成田研究室を中心に、ICTを活用したりリモート支援を通して、小・中学校、特別支援学校における発達支援ニーズに応える活動を実施しています。

尚綱学院大学 渡邊ゼミ
 尚綱学院大学 人文社会学類・渡邊ゼミでは、地域活動やSDGsをテーマに、学生主体の実践的な学びに取り組んでいます。長町地域でのマルシェやイベント活動を通して、エシカル消費、環境問題、地域交流などを発信してきました。今回は、宮城トボ(株)の協力のもと、制服の残り布を活用した「くるみボタンと菜(しおり)づくり」を通して、衣服廃棄や持続可能な消費について考える機会を提供します。

高校ブースのプロフィール

泉高校探究チーム①
 「学校で行った探究活動の成果を1ブースで2種類の発表をします。①産後ケアについて探究し、現状とその課題を調査しました。当日はクイズやアンケートを通して産後ケアについて、理解を深めてもらいます。②遊びを通して「ごみを減らす」「繰り返し使う」大切さを伝え、子どもから大人まで楽しみながら環境意識を高められる体験をします。

泉高校探究チーム②
 姉妹と一緒に「不登校の子どもたちの居場所作り」の活動を行っています。集会所で地元の中学校の子とちと「こもれび広場」という会を開いて、一緒に手作りの小物を作る活動をしています。この活動は「SDGsQUEST みらい甲子園南東北エリア大会」でアクションアイデア最優秀賞をいただきました。

泉館山高校防災ジュニアリーダー
 私たちは令和6年度から、泉区の『地域・高校連携による安全安心まちづくり事業』の一環として『館高防災ジュニアリーダー』として活動してきました。その活動を通して、安全安心なまちづくりの担い手として、本校生徒への地域の期待の高さを肌で感じる事ができました。その期待にこたえるために、高校生も地域の一員であることを自覚して地域の方々と関わり、身近な防災対策を示すことなどを通して、地域の防災意識を向上させたいと考えています。

大河原産業高校 環境科学科 森林類型
 宮城県で唯一、森林・林業分野を専門に学ぶ高校です。学校は一目千本桜で有名な大河原町にあります。主な実習場は川崎町にある青根演習林です。広大な「青根の森」で持続可能な森林の経営と管理、利用について実践的に学びながら、森林の多様な環境と資源を活かして様々なプロジェクトに挑戦しています。

白石工業高校 建築科
 宮城県白石工業高等学校 建築科で取り組んでいる以下の内容に関する出展。
 研究目標:産業廃棄物の再利用・有効利用を含めた、循環型社会に貢献できる技術者・技能者を育成する。
 研究概要:解体予定の木造建築物の構造材から、再利用可能な部材を採取し、その材料を使用した木工製品の設計、製作を行い、産業廃棄物の有効活用法を検討する。

仙台第一高校
 宮城県仙台第一高等学校は、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されています。本校では、理系・文系のコースによらず、生徒全員が2年間、自分自身の深めたいゼミに分かれて多様な分野の研究に取り組み、課題を発見する力や解決する力を磨いています。今回出展するのは、3年生まで研究活動を継続している生徒です。

仙台第三高校
 仙台第三高校では、SSH指定校として探究活動に力を入れています。普通科・理数科ともに、生徒一人ひとりが関心のあるテーマについてグループで探究を行っています。教科書や生成AIだけではたり着けぬ独自の問いに向き合う、生徒主体の探究活動です。今回は、SDGsに関連するテーマについて発表します。2年間にかつる探究活動の成果を、ぜひご覧ください。

仙台二華高校GS課題研究III
 仙台二華高校では、「世界の水問題解決のための取り組み」を大きなテーマに、世界や日本におけるさまざまな課題について、高校生がその解決のために本気で取り組んでいます。現地の課題を住民の立場に寄り添いながら、その解決のためにできることを考え、アイデアを検証し、現地へと提案することを目標にしています。当日はその成果を高校3年生がポスター発表する予定です。

多賀城高校
 多賀城高等学校では、総合的な探究の時間に、生徒が自らテーマを設定し、グループで探究活動(課題研究)に取り組んでいます。私たちのグループでは、食品の備蓄状況を課題として捉え、備蓄食品を日常的に活用することで災害時への備蓄につなげることを目的に研究を行いました。

古川黎明高校探究活動
 「日本語学校が新設された大崎市、高校生によるスゴク交流とは!」「スムージー革命!春菊しゅむ〜じ〜で大崎市の農業を盛り上げる!」「JKインスタで大崎市の情報発信!MoguttoFurukawau」世界農業遺産の大崎耕土に拠点を置く古川黎明高等学校から参戦!大崎市の魅力を高校生の探究活動から解析、分析します!高校生の疑問から始まる未知への探究を皆様へお伝えしたい!ぜひ、足をお運びください。

松島高校 パソコン部
 松島高校 パソコン部で、グループ内で研究テーマを設けてSDGsの17個項目のある中で12、14、15個目の3つの項目に視点を向けて活動しています。パソコン部でのSDGs活動という異色の活動ですが、パソコンを駆使して今までの活動をデータ化するなど、パソコンを使ったSDGs活動を行っています。SDGsマルシェに参加して3年目となり昨年の活動を生かし、レベルアップしたブースになります。

宮城学院中学校高校 自然科学班
 私たち宮城学院中学校高等学校自然科学班は、様々な活動を行っています。サンショウウオの保全については、調査研究と保護活動を共に実施し、本校に隣接する水の森キャンプ場と泉ヶ岳周辺に生息するサンショウウオが持続的に生きている環境の整備を目標に、地域の方々と連携を取りながら活動しています。再生チョーク作りなど、精力的に環境活動に取り組んでいます。

利府高校 自然科学部
 仙台平野の中央にある利府町は東北最大級の商業地だけでなく農業や漁業、松島湾の表玄関に位置する観光の町でもあります。そんな町で、地域住民と協働して作ったスイーツや防災予防のための実験研究、また観光資源としての松島のマツの調査活動を紹介します。

尚綱学院関係ブースのプロフィール

(学友)尚綱学院 里山再生プロジェクト
 尚綱学院は名取キャンパス周囲の山を地域社会の公共財とし、約20万㎡の森を再生させるプロジェクトを2016年4月に立ち上げました。NPOや地域の方々、大学生・中高生、教職員など、子どもから大人まで「みんなで集い、楽しく学べる」尚綱の森"を目指して、整備活動やSDGs学習会、イベントなどを通して交流しています。興味のある方はぜひ、「里山再生プロジェクト」へご参加ください!

